

# 阪南中学校だより

NO. 9

令和7年9月5日（金）

発行：大阪市立阪南中学校長 中西 洋

## 高校合同説明会 in あべの 2025 とつながる 2025

8月2日（土）・3日（日）の両日、阿倍野区5中学PTA主催の高等学校説明会が阿倍野区役所で開催されました。本年度も、国公立・私立合わせて100校余りの学校が参加し、両日とも本校から多数の生徒・保護者の皆様の参加があり、この機会を有効に活用し、積極的に進路にかかわる情報を集めておられました。本年度も両日に渡り、この説明会の取り組みを進めていただきました阪南中PTA役員・実行委員の皆様、本当にありがとうございました。また、8月17日（日）には、本年度も、生徒の多様な受け入れについて、情報共有できる場としてつながる2025が開催されました。

## 特集！ 令和7年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙調査から①

本年度4月15日（火）、3年生を対象に理科・生徒質問紙、17日（木）に国語・数学が実施されました全国学力・学習状況調査の結果が届きました。その調査の中の生徒質問紙調査の結果から、本校生徒の様子等を報告させていただきます。

（3年生の個々の調査結果については、1学期末にまでに返却しました。）

### ○全国平均値・大阪府平均値と阪南中学校平均値を比較して

《「そう思う(当てはまる)」、「どちらかといえばそう思う(当てはまる)」等の肯定的なデータの割合から平均値を比較しました》

#### 【自尊心感情かかわる項目】

◇規範意識について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	自分には、よいところがあると思いますか。 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 将来の夢や目標を持っていますか。 人が困っているときに、進んで助けていますか。 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 学校に行くのは楽しいと思いますか。 友達関係に満足していますか。 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 先生は、間違ったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
大阪府より高い ↑ (大阪府より良い値を示す項目)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
全国・大阪府より低い	該当する項目がありません。

→裏面に続く

「自分には、よいところがあると思いますか。」「将来の夢や目標を持っていますか。」「人が困っている時に進んで助けていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」というような生徒の自尊感情（自己有用感・自己肯定感）を問う項目について、今年も高い値を示し、しっかり自信をもって行動できる阪南中の生徒の特色が現れていると思います。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」「先生は、間違ったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。」というような項目について、本年度も高い値を示しています。3年前より本校の重点課題として取り組んだ成果だと考えています。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」というような、自他との関係の調整力を問う項目についても高い値を示し、昨年度に続き、対話的授業への取り組みもあり、しっかりコミュニケーションできる生徒の傾向が強く表れていると思います。生徒たちが、学力（生きる力）をしっかり身につけるためにも、意欲（自信）をもって、何事にも臨むことのできる力の源が自尊感情になります。引き続き、阪南中学校では、文部科学省や市教育委員会の示す課題についても取り組みを継続し、しっかり生徒を支え、より良い集団づくりを生徒一人ひとりの学習意欲の向上に結び付け、阪南中学校全体の学力の向上に繋げていきたいと考えています。

## 【生活について】

### ◇家庭生活について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
大阪府より高い ↑ (大阪府より良い値を示す項目)	朝食を毎日食べていますか。 新聞を読んでいますか(週に1～3回)。
全国・大阪府より低い	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

本年度は「新聞を読んでいますか。」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」の項目について、本年度もあまり高い値を示していませんでした。逆に、これまで高い値を示してこなかった「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の項目について、地域からの協力と取り組みが進んだ成果として、本年度、初めて高い値を示しました。とても良い傾向だと思います。しかし、本年度は「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」等の規則正しい生活にかかわる項目の一部で高い値を示していなかったことは、昨年より本校の継続課題である、生徒のスマホ・SNS等の安全な使い方等とも関わり、各ご家庭での管理・ご指導をいただきながら、続けて適切な生徒への働き掛けが必要ではないかとも考えています。引き続き、保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

特集は次々号(NO.11)に続きます。